

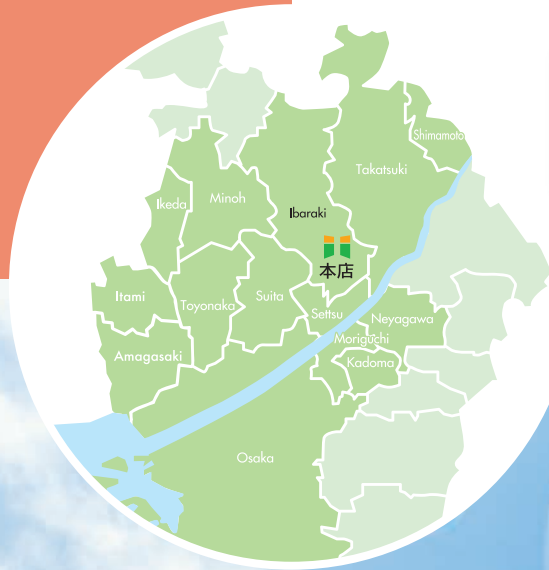
The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫

景況レポート

2024年1～3月期 No.41

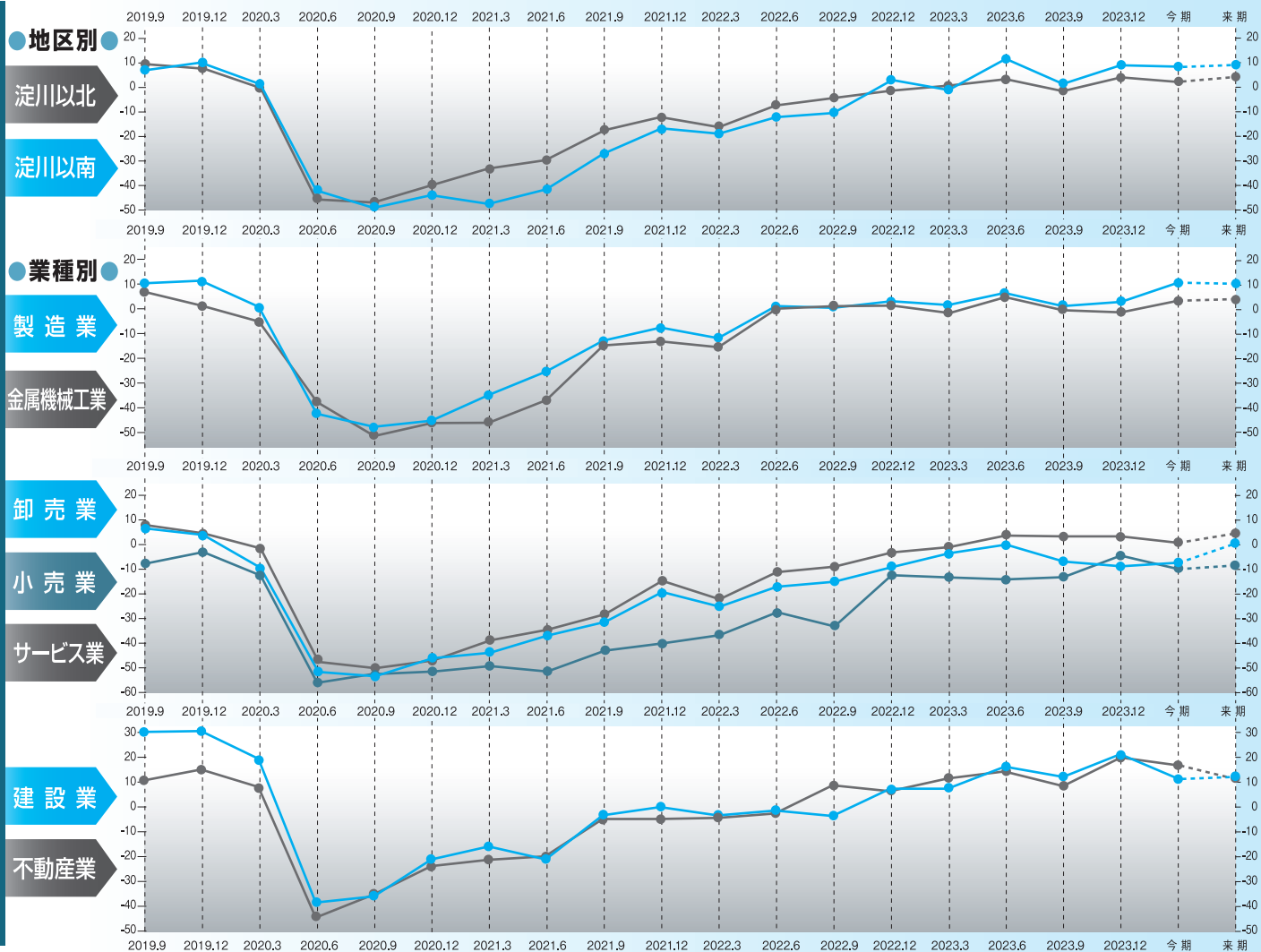
Business Condition Report



この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫





INDEX

地区別・業種別 業況判断DI 来期予想までの推移・目次	1
調査概要	2
全業種総合	3・4
製造業	5
金属機械工業	6
卸売業	7
小売業	8
サービス業	9
建設業	10
不動産業	11
特別調査「外国人雇用について」	12・13・14

〈調査概要〉 調査対象……………地元企業 1,200社(有効回答1,200社)
 調査時期……………2024年3月
 調査対象期間…2024年1月～3月期 当期の実績(2023年10月～12月期との比較)
 2024年4月～6月期 来期の見通し(2024年1月～3月期との比較)
 調査方法……………当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査
 分析方法……………DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例) 良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

(1) 売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。

(2) 業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業 況	現状 「良い」	現状 「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人 手	現状 「過剰」	現状 「不足」
借入の難易度	現状 「容易」	現状 「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

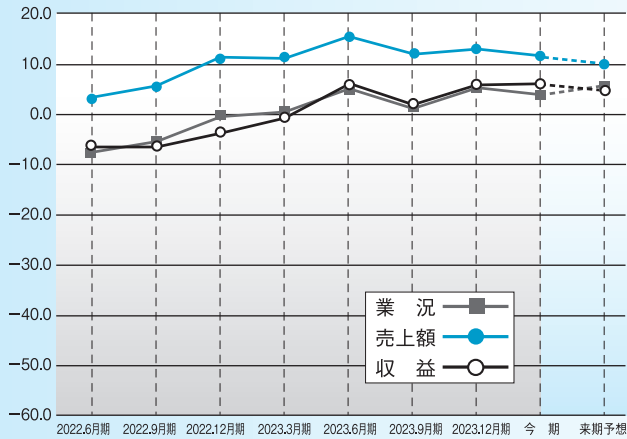
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合 計(構成比)	
製 造 業	37	50	45	23	20	17	8	200	16.7%
金属機械工業	65	50	33	25	13	8	6	200	16.7%
卸 売 業	45	32	22	12	6	2	1	120	10.0%
小 売 業	75	36	16	8	1	9	5	150	12.5%
サービス業	55	46	26	20	23	20	10	200	16.7%
建 設 業	56	62	53	18	4	4	3	200	16.7%
不 動 産 業	75	39	12	—	3	—	1	130	10.8%
合 計	408	315	207	106	70	60	34	1,200	100.0%
(構成比)	34.0%	26.3%	17.3%	8.8%	5.8%	5.0%	2.8%	100.0%	—

*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域●

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

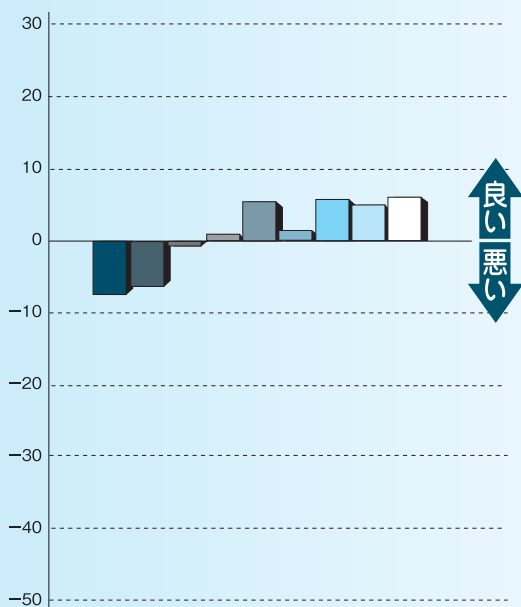
業況・売上額・収益



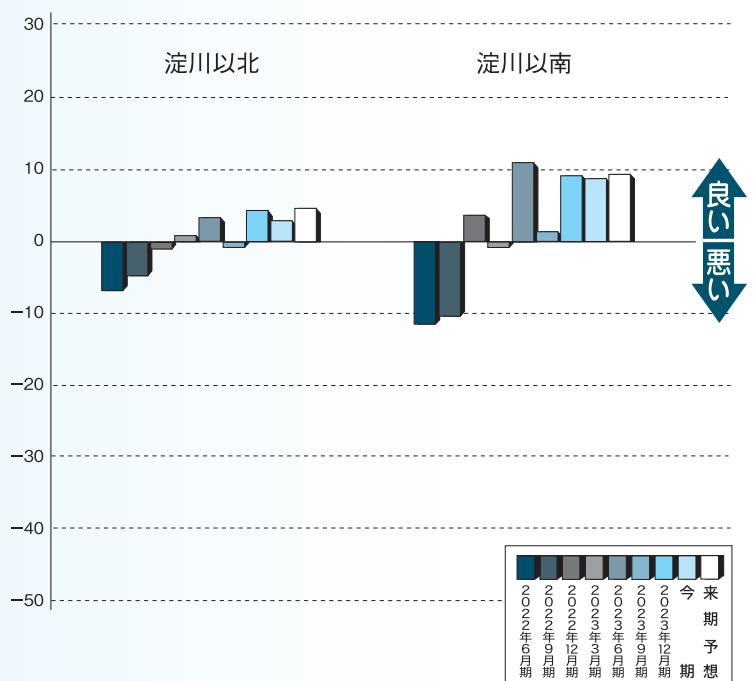
全業種総合 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-7.1	-5.6	-0.3	0.5	5.3	1.6	5.5	4.3	5.8
売上額	3.4	5.5	11.5	11.3	15.5	12.5	13.3	12.0	10.0
受注残	8.0	9.8	12.9	11.0	8.3	10.7	12.5	12.7	11.0
施工高	10.0	10.5	21.0	17.1	17.0	23.0	29.0	25.0	23.5
収益	-6.1	-6.1	-2.6	-0.9	5.8	2.4	5.8	6.3	5.1
販売価格	29.7	31.4	33.1	33.2	28.6	32.3	30.4	29.2	25.5
原材料・仕入価格	61.5	60.0	59.8	55.4	48.9	50.8	47.0	41.1	36.7
在庫	-6.9	-4.8	-4.0	-1.4	-1.9	0.1	0.5	0.0	-0.2
資金繰り	1.4	0.8	-1.7	-1.5	-2.6	-1.8	-1.4	-3.3	-3.3
従業員残業時間	7.3	5.9	7.7	6.7	6.9	5.9	6.1	5.9	4.7
従業員人手	-12.6	-11.3	-12.7	-12.5	-13.5	-12.2	-14.0	-11.9	-11.7
設備状況	-4.0	-3.6	-3.7	-3.8	-2.9	-2.8	-3.6	-3.2	-3.3

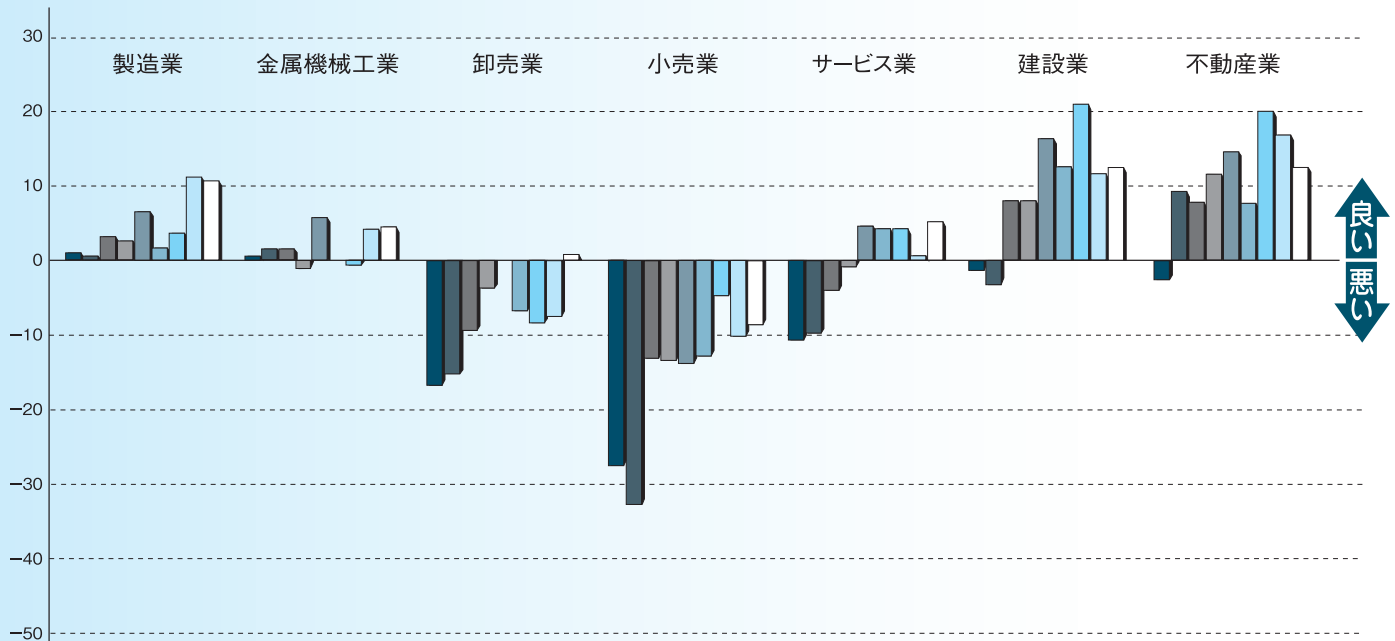
全体業況判断DI



地区別業況判断DI



業種別業況判断DI



業況について

2024年1月～3月期 ～業況は前期比▲1.2ポイント減の小幅に悪化～

2024年1月～3月期、全業種の業況判断(DI)は4.3(前期比▲1.2ポイント減)と小幅に悪化した。

来期予想の業況判断(5.8)はわずかな改善の見通し。

《業種別》～製造業、金属機械工業は改善、卸売業は概ね横ばい、不動産業、サービス業、小売業は悪化、建設業は大幅な悪化～

業種別にみると、「製造業」は11.0(前期比7.5ポイント増)、「金属機械工業」は4.0(同4.5ポイント増)の改善。「卸売業」は▲7.5(同0.8ポイント増)と概ね横ばいした。「不動産業」は16.9(同▲3.1ポイント減)、「サービス業」は0.5(同▲3.5ポイント減)、「小売業」は▲10.0(同▲5.3ポイント減)は悪化し、「建設業」は11.5(同▲10.0ポイント減)は大幅な悪化となった。

～淀川以北地域、淀川以南地域は共に小幅な悪化～

地域別にみると、淀川以北地域の業況判断(DI)は2.5(前期比▲1.6ポイント減)とわずかな悪化。淀川以南地域は8.0(同▲1.0ポイント減)と小幅に悪化。淀川以北地域の業種別では、製造業(前期2.8→今期13.0)は大幅な改善。金属機械工業(同▲3.2→1.9)は改善、不動産業(同16.5→同13.7)わずかな悪化、卸売業(同▲2.5→同▲6.5)、小売業(同▲7.1→同▲11.6)、サービス業(同2.6→同▲3.2)と悪化。建設業(同17.3→同6.8)は大幅な悪化。淀川以南地域の業況判断(DI)では、卸売業(同▲22.5→同▲10.3)と大幅な改善となった。サービス業(同4.9→同13.2)は改善。製造業(同2.0→同2.0)は横ばい。小売業(同0→同▲3.1)、不動産業(同29.0→同21.4)、金属機械工業(同16.3→同7.3)とともに悪化となった。建設業(同41.7→同31.4)は大幅な悪化となった。

来期の業況判断予想は、淀川以北地域(4.3)はわずかな改善の見通し。淀川以南地域(9.1)は小幅な改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額は小幅な悪化、収益は概ね横ばい～

売上額判断(DI)は12.0(前期比1.3ポイント減)は小幅な悪化。収益判断(DI)は6.3ポイント(同0.5ポイント増)と概ね横ばいとなった。

来期予想の売上額判断(10.0)はわずかな悪化、収益判断(5.1)は小幅な悪化の見通し。

販売価格・原材料・仕入価格の動き

～販売価格は小幅な悪化、原材料(仕入)価格は改善～

販売価格判断(DI)は29.2(前期比1.2ポイント減)と小幅な悪化、原材料・仕入価格判断(DI)は41.1(同5.9ポイント減)と改善となった。

来期予想の販売価格判断(25.5)は悪化、原材料・仕入価格判断(36.7)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りはわずかな悪化、人手はわずかな改善～

資金繰り判断(DI)は▲3.3(前期比1.9ポイント減)とわずかな悪化。人手判断(DI)▲11.9(同2.1ポイント増)はわずかな改善。人手判断の内訳は、不足とする企業の割合は前期15.0%→今期13.0%とわずかな低下。人手過剰とする企業の割合は同1.0%→同1.0%と横ばい。適正とした企業の割合は同84.0%→同86.0%とわずかな上昇となった。

来期予想の資金繰り判断(▲3.3)横ばい、人手判断(▲11.7)ほぼ横ばいの見通し。

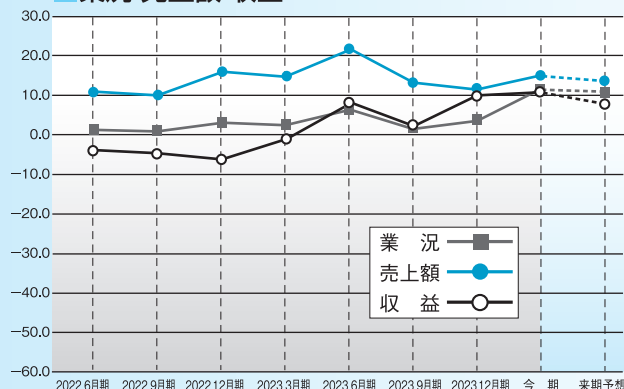
経営上の問題点

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 43.0%	原材料高 27.5%	同業者間の競争の激化 26.0%	人手不足 19.5%	利幅の縮小 19.0%
金属機械工業	売上の停滞・減少 83.5%	同業者間の競争の激化 30.5%	人手不足 23.0%	原材料高 18.5%	利幅の縮小 15.0%
卸売業	売上の停滞・減少 48.3%	同業者間の競争の激化 37.5%	利幅の縮小 16.7%	人手不足 15.0%	輸入商品との競争の激化 10.8%
小売業	売上の停滞・減少 49.3%	同業者間の競争の激化 24.7%	人手不足 16.0%	大型店との競争の激化 16.0%	商店街の集客力の低下 14.0%
サービス業	売上の停滞・減少 77.5%	同業者間の競争の激化 37.5%	人手不足 29.0%	人件費の増加 11.5%	大手企業との競争の激化 8.0%
建設業	売上の停滞・減少 77.5%	人手不足 40.0%	同業者間の競争の激化 26.0%	材料価格の上昇 19.0%	利幅の縮小 15.5%
不動産業	売上の停滞・減少 78.5%	商品物件の不足 40.0%	同業者間の競争の激化 33.1%	商品物件の高騰 22.3%	大手企業との競争の激化 13.8%

当面の重点経営施策

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	販路を広げる 61.5%	経費を削減する 36.5%	情報力を強化する 17.0%	人材を確保する 15.5%	新製品・技術を開発する 14.0%
金属機械工業	販路を広げる 61.0%	経費を削減する 25.5%	情報力を強化する 17.5%	人材を確保する 16.5%	教育訓練を強化する 12.5%
卸売業	販路を広げる 78.3%	経費を削減する 35.0%	品揃えを充実する 21.7%	情報力を強化する 18.3%	提携先を見つける 10.8%
小売業	品揃えを充実する 54.0%	経費を削減する 38.0%	宣伝・広告を強化する 25.3%	売れ筋商品を取り扱う 20.7%	商店街事業を活性化させる 10.0%
サービス業	販路を広げる 57.0%	経費を削減する 36.0%	宣伝・広告を強化する 16.5%	人材を確保する 16.0%	教育訓練を強化する 7.0%
建設業	販路を広げる 56.5%	経費を削減する 34.0%	人材を確保する 25.5%	情報力を強化する 19.0%	技術力を高める 15.0%
不動産業	情報力を強化する 53.8%	販路を広げる 46.9%	宣伝・広告を強化する 27.7%	経費を削減する 23.1%	その他 4.6%

業況・売上額・収益



製造業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	1.0	0.5	3.0	2.5	6.5	1.5	3.5	11.0	10.5
売上額	10.5	10.0	16.0	15.0	21.0	13.0	11.5	15.0	14.0
受注残	5.0	10.0	13.5	10.0	10.5	5.0	11.0	12.0	12.5
収益	-3.5	-4.0	-5.6	-1.0	8.0	2.0	10.0	10.5	8.5
販売価格	33.5	37.0	34.2	37.0	37.0	41.5	32.0	35.5	29.0
原材料価格	76.9	73.5	67.5	62.5	60.0	60.0	54.5	46.5	41.0
在庫	-2.0	0.0	0.5	0.0	1.5	4.5	2.0	0.0	0.0
資金繰り	6.6	5.0	5.1	3.5	0.0	4.5	1.5	2.0	2.5
従業員残業時間	7.5	4.1	6.1	6.1	5.6	4.6	3.0	5.1	3.0
従業員人手	-12.6	-17.9	-17.9	-15.3	-15.7	-15.2	-14.2	-12.7	-11.7
設備状況	-4.5	-3.1	-7.1	-6.1	-5.6	-4.1	-5.1	-7.6	-6.6

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は前期比7.5ポイント増と改善～

2024年1月～3月期、製造業の業況判断(DI)は11.0(前期比7.5ポイント増)と改善。最多納入先別にみる業況判断(DI)では、「小売・最終需要向け」(前期▲11.1→今期0)、「中小メーカー・仲間業者向け」(同▲7.1→同3.4)とともに大幅な改善。「問屋・商社向け」(同12.0→同16.0)は改善。「大メーカー向け」(同31.8→同31.8)は横ばいとなった。

来期予想の業況判断(10.5)は概ね横ばいの見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー・仲間業者	小売・最終需要
全体	200	25	44	116	15
良い・悪い	22	4	14	4	0
DI	11.0	16.0	31.8	3.4	0.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額は改善。収益は概ね横ばい、受注残は小幅な改善～

売上額判断(DI)は15.0(前期比3.5ポイント増)と改善。収益判断(DI)は、10.5(同0.5ポイント増)は概ね横ばい。受注残判断(DI)は、12.0(同1.0ポイント増)は小幅な改善。来期予想は、売上額判断(14.0)は小幅な悪化。受注残判断(12.5)は概ね横ばい。収益判断(8.5)はわずかな悪化の見通し。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格、原材料価格とともに改善～

販売価格判断(DI)は35.5(前期比3.5ポイント増)、原材料価格判断(DI)は46.5(同8.0ポイント減)とともに改善となった。来期予想の販売価格判断(29.0)は悪化。原料価格判断(41.0)は改善の見通し。

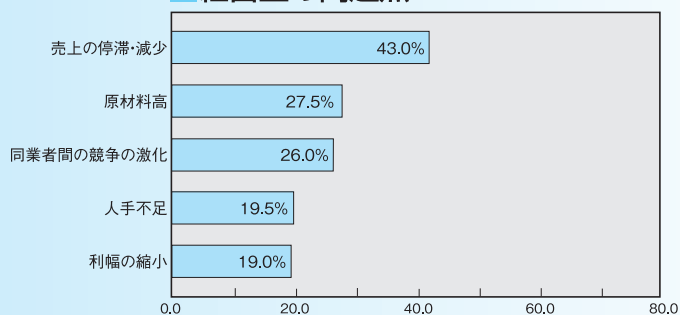
資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りは概ね横ばい、人手はわずかな改善～

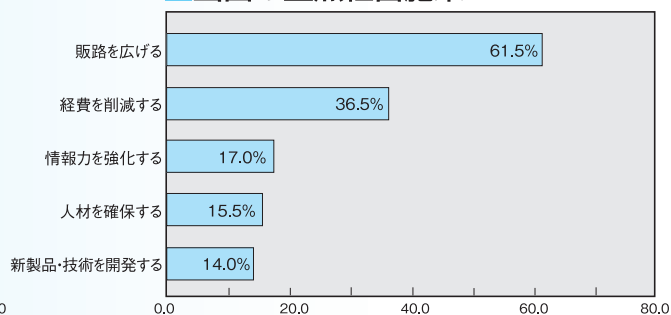
資金繰り判断(DI)は2.0(前期比0.5増)と概ね横ばい。人手判断(DI)は▲12.7(同1.5ポイント増)はわずかな改善となった。人手判断の内訳は、不足とした企業は前期15.2%→今期13.7%とわずかな低下、適正とした企業の割合は同83.8%→同85.3%とわずかな上昇となった。人手過剰とした企業の割合は同1.0%→同1.0%と横ばいとなった。

来期予想の資金繰り判断(2.5)は概ね横ばい。人手判断(▲11.7)は小幅な改善の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

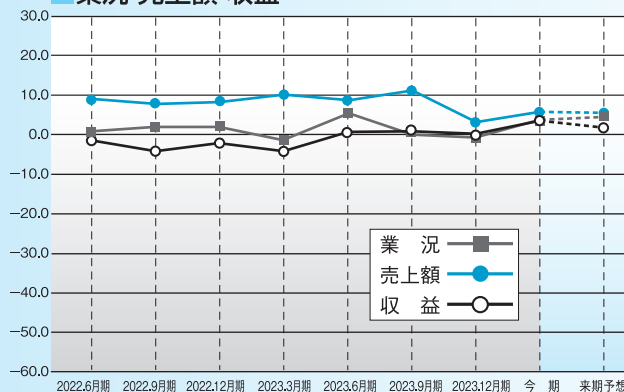


企業のコメント



- ・半導体などCPU関連部品の供給は追いついたが、ケーブル不足の影響から仕掛増加。受注は好調。(計測器)
- ・インバウンド需要による国内旅行が回復傾向の影響もあり、受注増加。人手不足が懸念材料。(印刷)
- ・今期は前期と変わらず推移。仕入価格が上昇しており、今後販売価格に転嫁していく。(エレベーター部品)
- ・業況は少しずつ上昇傾向であるも仕入値高騰が影響している分、利益率は減少傾向。(プラスチック製品)
- ・業況安定しているがゼロゼロ融資返済が始まるので返済面はより厳しくなる見通し。(機械製造・製罐)
- ・業況に波がある。当面先の受注までは確保できていない。(機械部品)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	2022.6	2022.9	2022.12	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	今期	来期予想
業況	0.5	1.5	1.5	-1.0	5.5	0.0	-0.5	4.0	4.5
売上額	9.5	8.0	8.1	10.0	9.5	11.0	3.0	6.0	5.5
受注残	14.1	11.6	9.1	9.5	7.5	11.0	4.5	7.5	5.0
収益	-1.0	-4.5	-2.5	-4.0	0.5	1.0	0.0	4.0	2.5
販売価格	36.2	30.5	31.3	37.5	29.5	29.5	30.0	26.0	23.5
原材料価格	76.9	72.0	62.9	60.0	50.5	55.5	47.0	39.0	33.0
在庫	-2.0	0.0	0.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	0.5
資金繰り	6.6	3.0	2.0	4.5	0.5	-3.0	0.0	-2.5	-2.5
従業員残業時間	7.5	3.0	6.6	4.0	5.5	5.5	4.0	0.5	0.5
従業員人手	-12.6	-10.0	-10.6	-16.5	-13.5	-10.5	-14.5	-12.0	-12.0
設備状況	-4.5	-4.5	-3.5	-5.0	-3.5	-2.5	-3.0	-2.0	-2.0

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は改善～

2024年1月～3月期、金属機械工業の業況判断(DI)は4.0(前期比4.5ポイント増)と改善。

最多納入先別の業況判断(DI)は、「大メーカー向け」(前期12.7→今期20.0)、

「中小メーカー向け」(同▲8.4→同▲1.6)とともに改善。

「問屋・商社向け」(同7.1→同▲8.3)、「小売・最終需要家向け」(同0.0→同▲33.3)とともにかなり大幅な悪化となった。

来期予想の業況判断(4.5)は概ね横ばいの見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー・仲間業者	小売・最終需要家
全体	200	12	60	125	3
良い・悪い	8	-1	12	-2	-1
DI	4.0	-8.3	20.0	-1.6	-33.3

売上額・収益・受注の動き

～売上額、受注残、収益とともに改善～

売上額判断(DI)は6.0(前期比3.0ポイント増)、受注残判断(DI)は7.5(同3.0ポイント増)、収益判断(DI)は4.0(同4.0ポイント増)といずれも改善した。

来期予想の売上額判断(5.5)は概ね横ばい、受注残判断(5.0)、収益判断(2.5)とともにわずかな悪化の見通し。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は悪化、原材料価格は改善～

販売価格判断(DI)は26.0(前期比4.0減)は悪化。原材料価格判断(DI)39.0(同8.0ポイント減)は改善した。

来期予想の販売価格判断(23.5)はわずかな悪化、原材料価格判断(33.0)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

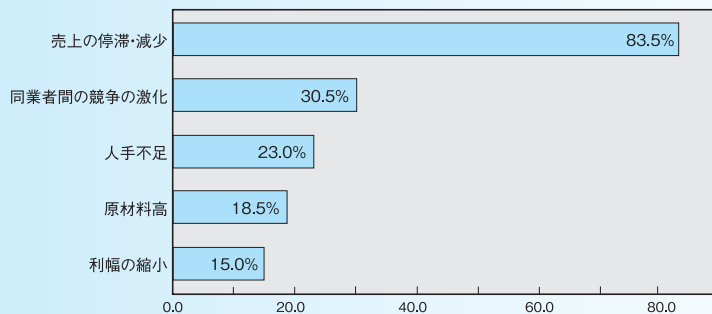
～資金繰りはわずかな悪化、人手についてはわずかに改善～

資金繰り判断(DI)は▲2.5(前期比2.5ポイント減)とわずかな悪化。

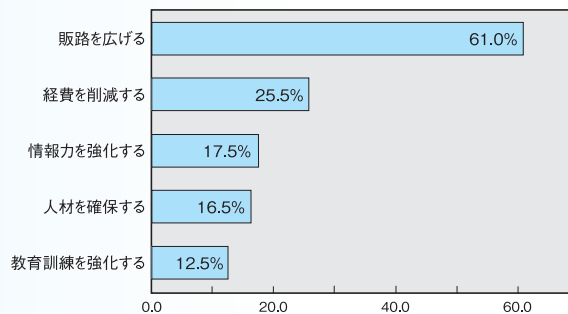
人手判断(DI)は▲12.0(同2.5ポイント増)とわずかに改善した。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期85.5%→今期85.0%と概ね横ばい、人手過剰とした企業の割合は同0.0%→同1.5%とわずかに上昇、不足とした企業の割合は同14.5%→同13.5%と小幅に低下した。

来期予想の資金繰り判断(▲2.5)、人手判断(▲12.0)とともに横ばいの見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

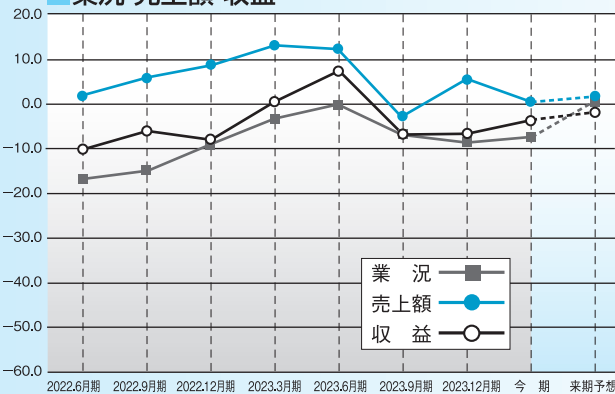


企業のコメント



- ・建設業界の活況により建機部品溶接需要増加、売上、利益増加傾向。受注残も当面あり。(建機部品加工)
- ・SNS等活用し、製品PRに注力。テレビ出演の反響もあり、今後売上増加が期待。(家庭用器具製造)
- ・コロナ緩和され業界の動きも活発。原材料高騰しているが概ね販売価格に転嫁できている。(金属加工)
- ・価格転嫁は、十分とは言えないができています。(熱交換器機製造)
- ・取引先業況回復により徐々に受注残は回復傾向だが、原材料等高騰により以前厳しい状況。(各種金属加工)
- ・人件費、原材料の高騰が影響し、利益の確保が厳しい状況。(電子機械器具)

業況・売上額・収益



卸売業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-16.7	-15.0	-9.2	-3.4	0.0	-6.7	-8.3	-7.5	0.8
売上額	1.7	6.7	9.2	13.6	12.5	-2.5	5.8	0.8	1.7
収益	-10.0	-5.8	-8.4	0.8	7.5	-6.7	-6.7	-3.3	-1.7
販売価格	29.2	35.8	32.5	34.7	20.0	30.0	34.2	30.0	26.7
仕入価格	50.0	53.3	55.8	49.2	38.3	45.0	45.0	36.7	35.8
在庫	-0.8	1.7	3.4	5.9	1.7	2.5	4.2	6.7	4.2
資金繰り	-9.2	-6.7	-12.5	-9.3	-5.0	-2.5	-17.0	-4.2	-2.5
従業員残業時間	0.8	2.5	3.3	-1.7	1.7	1.7	4.2	7.5	3.3
従業員人手	-6.7	-3.3	-7.6	-5.9	-8.3	-2.5	-4.2	-8.3	-9.2
設備状況	-2.5	-2.5	-1.7	0.8	-0.8	0.0	-2.5	-2.5	-2.5

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は前期比0.8ポイント増と概ね横ばい～

2024年1月～3月期、卸売業の業況判断(DI)は▲7.5(前期比0.8ポイント増)と概ね横ばい。
 最多納入先別の業況判断(DI)は、「大メーカー向け」(同▲5.6→同0.0)、「問屋・商社向け」(同▲20.0→▲15.4)とともに改善。
 「小売業者向け」(前期▲10.7今期▲11.5)は概ね横ばい。「中小メーカー向け」(同▲2.0→同▲3.7)はわずかな悪化となった。
 来期予想の業況判断(0.8)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー・ ・仲間業者	小売業者
全体	120	26	14	54	26
良い～悪い	-9	-4	0	-2	-3
DI	-7.5	-15.4	0.0	-3.7	-11.5

売上額・収益の動き

～売上額は悪化、収益は改善～

売上額判断(DI)は0.8(前期比5.0ポイント減)と悪化。収益判断(DI)は▲3.3(同3.4ポイント増)は改善した。
 来期予想の売上額判断(1.7)は概ね横ばい、収益判断(▲1.7)はわずかな改善の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は悪化、仕入価格は改善～

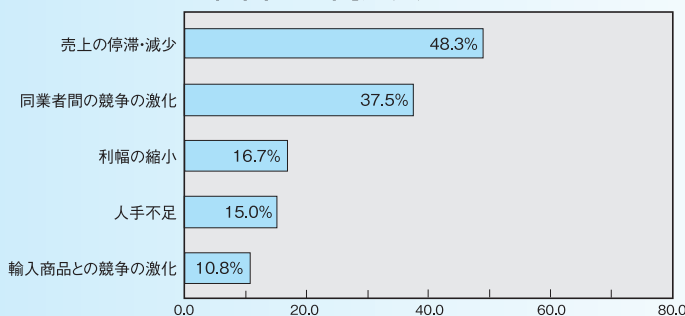
販売価格判断(DI)は30.0(前期比4.2ポイント減)は悪化。仕入価格判断(DI)は36.7(同8.3ポイント減)は改善となった。
 来期予想の販売価格判断(26.7)は悪化、仕入価格判断(35.8)は概ね横ばいの見通し。

資金繰り・雇用面の動き

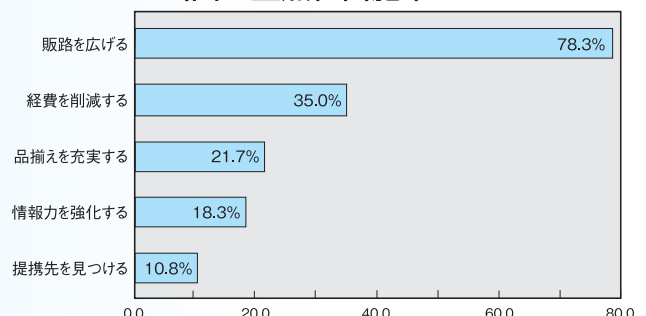
～資金繰りは大幅な改善、人手については悪化～

資金繰り判断(DI)は▲4.2(前期比12.8ポイント増)と大幅な改善。人手判断(DI)は▲8.3(同4.1ポイント減)の悪化となった。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期90.8%→今期90.0%と概ね横ばい、人手過剰とした企業の割合は同2.5%→同0.8%とわずかな低下となる。不足とした企業の割合は同6.7%→同9.2%とわずかに上昇した。
 来期予想の資金繰り判断(▲2.5)はわずかな改善、人手判断(▲9.2)は概ね横ばいの見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

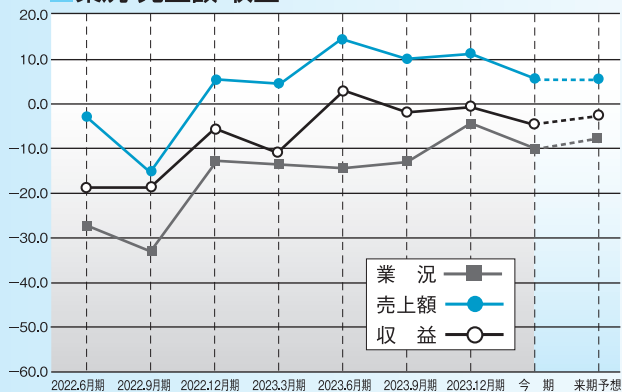


企業のコメント



- ・独自の調査技術を有し、価格引き合いの懸念なし。建設需要拡大によりさらに売上期待できる。(建設塗料)
- ・業況順調、売上の増加により、規模拡大方針。一方、人材不足で人員増加予定。(ユニフォーム)
- ・取引先も多く、受注安定。倉庫の稼働も順調で在庫の適正な管理が徹底できている。(鋳螺)
- ・暖冬により売れ行きは悪いが、新規取引先増加により、カバーできている。設備入替予定。(肌着・ストッキング)
- ・暖冬により冬物帽の販売が振るわず、春物商戦にて挽回を図っている。(帽子・衣類)
- ・今年度については暖冬の為、寝具の売上が低迷しており、減少傾向にある。(寝具卸売・販売業)

■業況・売上額・収益



■小売業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-27.3	-32.7	-12.9	-13.6	-14.0	12.7	-4.7	-10.0	-8.0
売上額	-3.3	-15.3	6.1	4.7	14.0	10.0	11.3	5.3	5.3
収益	-18.7	-18.7	-5.4	-10.8	2.7	-2.0	-0.7	-4.7	-2.7
販売価格	28.0	26.7	34.7	34.5	29.3	32.7	28.0	27.3	24.7
仕入価格	48.3	50.0	57.1	54.1	43.3	47.3	46.7	38.0	35.3
在庫	0.7	0.0	2.0	1.4	2.0	6.0	6.7	2.7	2.0
資金繰り	-5.3	-13.3	-12.2	-9.5	-10.0	-8.0	-12.0	-9.3	-11.3
従業員残業時間	-0.7	0.0	0.0	2.0	3.3	0.0	2.7	1.3	0.0
従業員人手	-5.3	-4.0	-1.4	-5.5	-11.3	-9.3	-12.0	-8.7	-7.3
設備状況	-2.0	-1.3	-0.7	-2.0	-3.3	-3.3	-3.3	-2.0	-3.3

■業況について

2024年1月～3月期 ～業況は前期比5.3ポイント減の悪化～

2024年1月～3月期、小売業の業況判断(DI)は▲10.0(前期比5.3ポイント減)と悪化。店舗立地地域別の業況判断(DI)は、「住宅地隣接商店街」(同▲6.9→同▲3.4)は改善。「駅周辺商店街」(前期▲9.1→今期▲12.5)は悪化、「その他」(同5.4→同▲17.1)はかなり大幅に悪化した。来期予想の業況判断(▲8.0)はわずかな改善の見通し。

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合 計	駅周辺商店街	住宅地隣接商店街	その他
全 体	150	56	59	35
良い～悪い	-15	-7	-2	-6
D I	-10.0	-12.5	-3.4	-17.1

■売上額・収益の動き

～売上額、収益とともに悪化～

売上額判断(DI)は5.3(前期比6.0ポイント減)、収益判断(DI)は▲4.7(同4.0ポイント減)とともに悪化した。来期予想の売上額判断(5.3)は横ばい、収益判断(▲2.7)はわずかな改善の見通し。

■販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は概ね横ばい、仕入価格は改善～

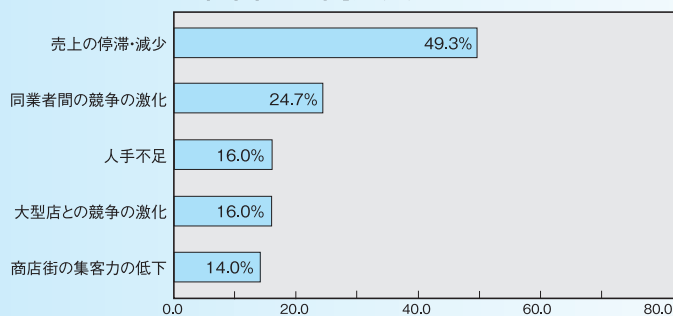
販売価格判断(DI)は27.3(前期比0.7ポイント減)と概ね横ばいした。仕入価格判断(DI)は38.0(同8.7ポイント減)と改善した。来期予想の販売価格判断(24.7)とわずかな悪化、仕入価格判断(35.3)とわずかな改善の見通し。

■資金繰り・雇用面の動き

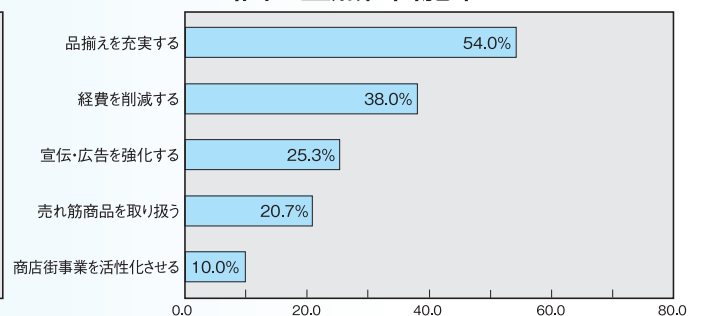
～資金繰りはわずかな改善、人手については改善～

資金繰り判断(DI)は▲9.3(前期比2.7ポイント増)とわずかな改善。人手判断(DI)は▲8.7(同3.3ポイント増)と改善。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期0.7%→今期0.7%と横ばい、不足とした企業の割合は同12.7%→同9.3%と低下、適正とした企業は同86.6%→同90.0%と上昇した。来期予想の資金繰り判断(▲11.3)はわずかな悪化、人手判断(▲7.3)はわずかな改善の見通し。

■経営上の問題点



■当面の重点経営施策

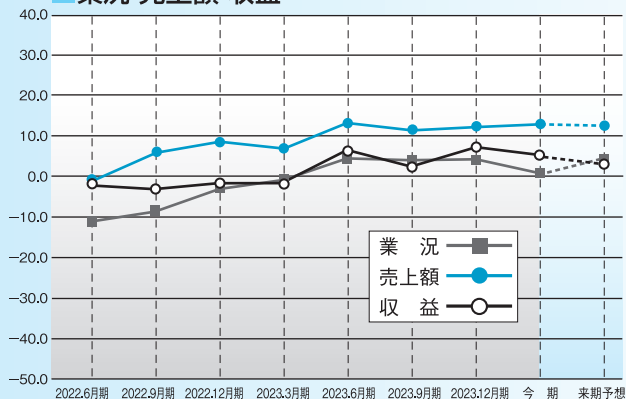


■企業のコメント



- ・海外ネット販売・インバウンド効果で売上拡大。海外人気キャラ使用で認知度もアップ。(男性用アパレル)
- ・コロナの影響も少なくイベントが再開し、トロフィー等の作成受注増加。(贈答品)
- ・電子帳簿保存法の厳格化でシステム導入し、長期的な顧客確保を構築。(OA機器販売)
- ・古書の需要は高いものの仕入が難しい。販売ルートはネットが増加傾向にある。(古書・専門書・レコード)
- ・駅近くの商店施設内に店舗を構えているが、人通りが少なくなってきたり売上にも影響が出ている。(婦人服)
- ・昼営業を休業している要因もあるが売上回復せず。仕入価格も上がっており利幅縮小。(お好み焼き)

業況・売上額・収益



サービス業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-10.6	-9.2	-3.5	-1.0	4.5	4.0	4.0	0.5	5.0
売上額	-1.0	5.5	8.0	6.1	13.5	11.0	12.0	12.5	12.0
収益	-2.0	-3.0	-1.5	-1.5	6.0	2.5	7.0	5.5	4.5
料金価格	16.6	17.6	19.1	17.2	20.0	21.0	17.5	21.5	16.0
材料価格	33.5	37.7	39.2	36.9	36.5	34.5	30.0	31.5	28.0
資金繰り	2.0	-0.5	-2.0	-3.5	-4.5	-2.0	-2.5	-5.5	-5.5
従業員残業時間	4.5	-0.5	4.5	5.1	4.5	7.5	6.5	5.0	3.5
従業員人手	-16.1	-13.6	-17.6	-15.2	-16.0	-16.0	-17.0	-10.5	-11.5
設備状況	-6.5	-5.5	-4.5	-4.5	-1.5	-5.0	-4.0	-2.5	-3.0

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は前期比3.5ポイント減の悪化～

2024年1月～3月期、サービス業の業況判断(DI)は0.5(前期比3.5ポイント減)と悪化。
来期予想の業況判断(5.0)は改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額は概ね横ばい、収益はわずかな悪化～

売上額判断(DI)は12.5(前期比0.5ポイント増)は概ね横ばい。
収益判断(DI)は5.5(1.5ポイント減)はわずかな悪化。
来期予想の売上額判断(12.0)と概ね横ばい、収益判断(4.5)は小幅な悪化の見通し。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格は改善、材料価格はわずかな悪化～

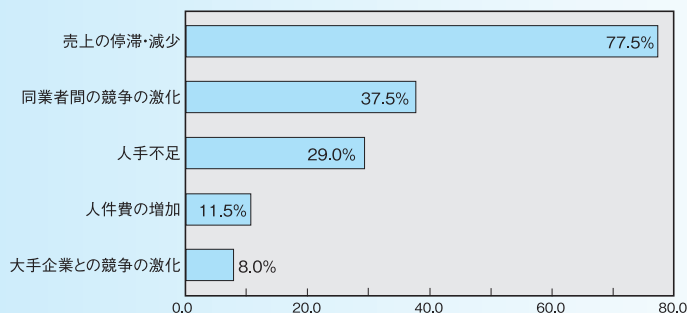
料金価格判断(DI)は21.5(前期比4.0ポイント増)と改善。
材料価格判断(DI)は31.5(同1.5ポイント増)とわずかな悪化。
来期予想の料金価格判断(16.0)は悪化、材料価格判断(28.0)と改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

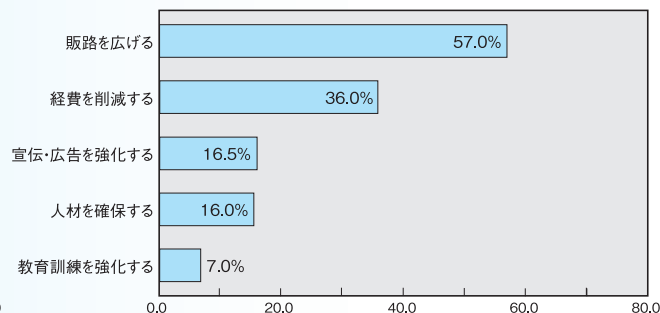
～資金繰りは悪化、人手については改善～

資金繰り判断(DI)は▲5.5(前期比3.0ポイント減)は悪化。
人手判断(DI)は▲10.5(同6.5ポイント増)と改善。人手判断の内訳は、人手不足とした企業の割合は前期18.0%→今期12.0%と上昇。
人手過剰とした企業の割合は同1.0%→同1.5%と概ね横ばい。適正とした企業の割合は同81.0%→同86.5%と上昇した。
来期予想の資金繰り判断(▲5.5)は横ばい、人手判断(▲11.5)は小幅に悪化の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

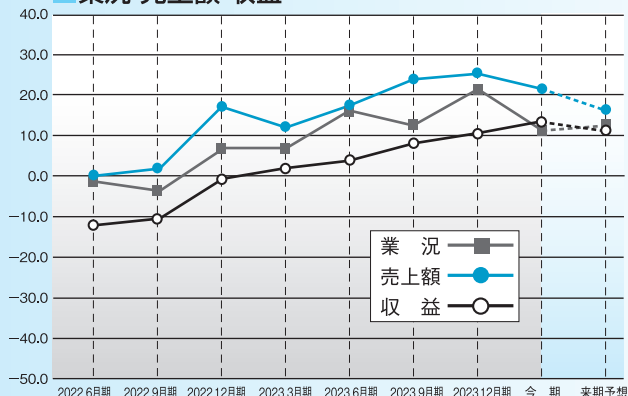


企業のコメント



- ・成人式・七五三などのヘアセットや着付けで、新規顧客獲得でき売上増加。(理容)
- ・レンタル需要は安定的であり、業況順調推移。(レンタル業)
- ・業況は堅調推移。原価高騰のため価格交渉を行う必要があるも一定の利益は確保。(梱包・運送倉庫)
- ・ブライダルは6割まで回復、葬儀関係のシェアも拡大しているため利益率は増加。(式場への人材派遣)
- ・アルバイト、社員の募集をするも低調な状況で人材不足が深刻。外国人採用を積極化。(コンビニエンスストア)
- ・ドライバー不足により、トラックの稼働も減少傾向。人員募集しているが集まらない。(運送業)

業況・売上額・収益



建設業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-1.5	-3.0	7.5	7.5	16.0	12.5	21.5	11.5	12.5
売上額	0.0	2.0	17.5	12.1	17.5	24.0	25.5	21.5	16.5
受注残	5.0	8.0	16.0	13.6	7.0	16.0	22.0	18.5	15.5
施工高	10.0	10.5	21.0	17.1	17.0	23.0	29.0	25.0	23.5
収益	-12.1	-10.5	-0.5	2.0	4.0	8.0	10.5	13.5	11.0
請負価格	26.0	27.0	35.5	30.7	26.0	32.0	34.0	30.5	31.0
原材料・仕入価格	80.0	69.0	73.0	68.3	53.0	58.0	53.0	48.0	44.0
在庫	-7.5	-6.5	-2.5	-2.0	-3.5	-0.5	2.5	0.5	0.5
資金繰り	0.5	2.0	-0.5	-2.5	-4.0	-2.0	1.5	-2.5	-3.0
従業員残業時間	4.0	3.0	6.0	6.0	5.5	5.0	6.5	8.0	7.0
従業員人手	-20.0	-19.0	-21.0	-18.6	-19.0	-22.0	-26.0	-23.5	-22.0
設備状況	-2.5	-3.5	-3.0	-3.5	-2.0	-1.0	-3.0	-2.0	-2.0

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は改善～

2024年1月～3月期、建設業の業況判断(DI)は11.5(前期比10.0ポイント減)と大幅に悪化した。請負先別の業況(DI)は、「大企業向け」(同27.9→同31.7)は改善、「官公庁向け」(同27.8→同25.7)はわずかな悪化、「中小企業向け」(前期18.0→今期▲1.1)、「個人向け」(前期0.0→今期▲28.6)はかなり大幅な悪化となった。来期予想の業況判断(12.5)は小幅な改善の見通し。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	200	35	60	91	14
良い～悪い	23	9	19	-1	-4
DI	11.5	25.7	31.7	-1.1	-28.6

売上額・収益・受注残の動き

～売上額は悪化、収益は改善、受注残は悪化～

売上額判断(DI)は21.5(前期比4.0ポイント減)と悪化、収益判断(DI)は13.5(同3.0ポイント増)と改善、受注残判断(DI)は18.5(前期比3.5ポイント減)は悪化した。来期予想の売上額判断(16.5)と、受注残判断(15.5)とともに悪化、収益判断(11.0)はわずかな悪化の見通し。

請負価格・原材料価格の動き

～請負価格は悪化、原材料価格は改善～

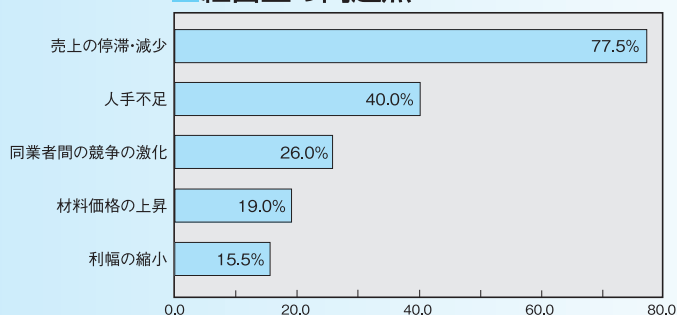
請負価格判断(DI)は30.5(前期比3.5ポイント減)と悪化。原材料価格判断(DI)は48.0(同5.0ポイント減)と改善した。来期予想の請負価格判断(31.0)は概ね横ばい、原材料価格判断(44.0)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

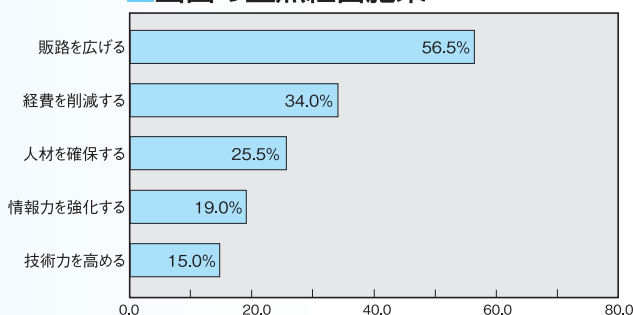
～資金繰りは悪化、人手はわずかな改善～

資金繰り判断(DI)は▲2.5(前期比4.0ポイント減)と悪化。人手判断(DI)は▲23.5(前期比2.5ポイント増)とわずかな改善。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期1.0%→今期0.5%と概ね横ばい。適正とした企業の割合は同72.0%→同75.5%と上昇した。また、人手不足とした企業の割合は同27.0%→同24.0%は低下した。来期予想の資金繰り判断(▲3.0)と概ね横ばい、人手判断(▲22.0)はわずかな改善の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

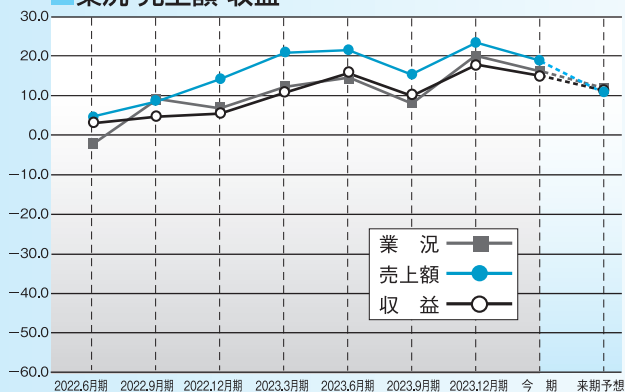


企業のコメント



- ・建物設備工事が順調。大型施設受注も増加傾向で見通し明るい、人繰りは苦慮している。(防災設備工事)
- ・大阪北区再開発関連の受注あり、売上・利益ともに増加傾向。(内装工事業)
- ・業況は安定傾向にあるが、人手不足は続いている。(一般土木)
- ・海外雇用も上手くいき、売上もコロナ前の水準まで回復傾向。(内装工事)
- ・受注はあるも、仕入が止まっているので工事ができない状態で売上も減少。人手不足も課題。(電気工事)
- ・電設資材の仕入が困難。一時的に受注が止まり、仕入支払が先行する悪循環になっている。(電気工事)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	2022.6月期	2022.9月期	2022.12月期	2023.3月期	2023.6月期	2023.9月期	2023.12月期	今期	来期予想
業況	-2.3	9.3	7.0	11.6	14.6	7.7	20.0	16.9	12.3
売上額	4.6	9.2	14.1	20.5	20.8	15.4	23.8	19.2	10.8
収益	3.1	4.6	5.5	10.7	15.4	10.0	17.7	15.4	10.8
販売価格	42.3	51.5	50.4	46.7	38.5	42.3	42.3	35.4	29.2
仕入価格	60.8	60.8	61.2	53.3	57.7	53.1	54.6	47.7	40.0
在庫	-33.1	-29.2	-33.3	-18.2	-19.2	-16.9	-16.2	-11.5	-9.2
資金繰り	4.6	4.6	3.1	2.5	4.6	-1.5	1.5	-2.3	-1.5
従業員残業時間	1.5	2.3	3.9	4.1	4.6	0.8	2.3	2.3	1.5
従業員人手	-0.8	-3.9	-5.5	-2.4	-5.4	-1.5	-1.5	-2.3	-3.1

業況について

2024年1月～3月期 ～業況は悪化～

2024年1月～3月期、不動産業の業況判断(DI)は16.9(前期比3.1ポイント減)と悪化した。

業種内容別業況では、「建売」(前期22.5→今期20.5)はわずかな悪化。

「仲介管理」(同16.7→同13.0)、「賃貸」(同11.8→同5.3)と悪化した。

来期予想の業況判断(12.3)は悪化の見通し。

◎業種内容別業況について(当期)

	全 体	賃 貸	建 売	仲介管理
全 体	130	19	88	23
良い～悪い	22	1	18	3
D I	16.9	5.3	20.5	13.0

売上額・収益の動き

～売上額は悪化、収益はわずかに悪化～

売上額判断(DI)は19.2(前期比4.6ポイント減)と悪化、収益判断(DI)は15.4(同2.3ポイント減)とわずかに悪化した。

来期予想の売上額判断(10.8)、収益判断(10.8)とともに悪化の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は悪化、仕入価格は改善～

販売価格判断(DI)は35.4(前期比6.9ポイント減)と悪化。仕入価格判断(DI)は47.7(同6.9ポイント減)と改善した。

来期予想の販売価格判断(29.2)は悪化、仕入価格判断(40.0)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

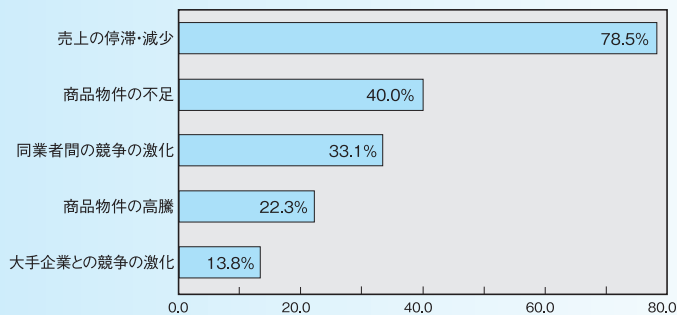
～資金繰りは悪化、人手は概ね横ばい～

資金繰り判断(DI)は▲2.3(前期比3.8ポイント減)と悪化。

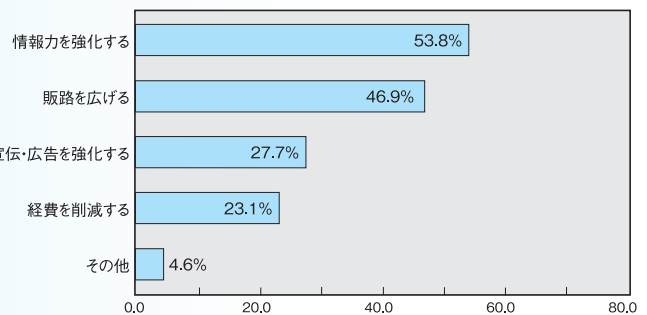
人手判断(DI)は▲2.3(前期比0.8ポイント減)と概ね横ばい。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期0.0%→今期0.8%と概ね横ばい。適正とした企業の割合は同98.5%→同96.1%とわずかに低下。人手不足とした企業の割合は同1.5%→同3.1%とわずかな上昇となった。

来期予想の資金繰り判断は(▲1.5)、人手判断は(▲3.1)とともに概ね横ばいの見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント

- ・ 前期比売上増加。販売も順調に推移している。引き続き情報力強化する。(不動産)
- ・ 土地購入後、マンション建築し賃貸満室後、販売するビジネスモデルで利益確保。(不動産仲介、売買、賃貸、管理)
- ・ 売上は変わらず推移。長年営業しているので、引き合いもあり、紹介もいただいている。(不動産)
- ・ 物価高騰の影響より仕入れ値高騰。同業者競争も激しいため、スピードが勝負となっている。(新築分譲)
- ・ 物件仕入苦戦している。土地価格高騰の影響があるため仕入は慎重にしている。(不動産売買)
- ・ 物件の高騰により売買意欲低下している。(不動産売買)

今回の北おおさか信金景気動向特別調査は「外国人雇用について」をテーマにアンケート調査を行いました。調査期間は2024年3月1日～7日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1,200社で、有効回答は1,200社（有効回答率100.0%）。

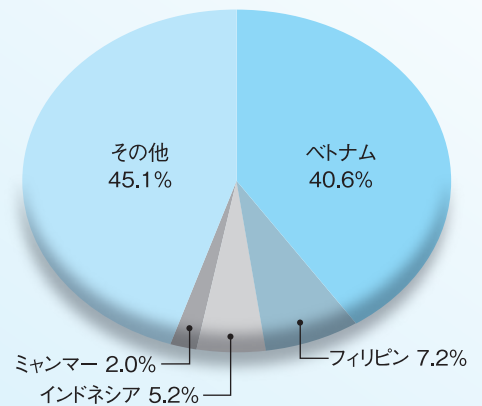


雇用するならどこの国の人材を採用したいですか。

～「ベトナム」40.6%、
「フィリピン」7.2%、
「インドネシア」5.2%～

「どこの国の人材を採用したいか」について聞いたところ、「ベトナム」と回答した企業割合は40.6%と国別では最も多くなった（業種別では、金属機械工業55.0%と高く、次いで建設業52.5%）。また、「フィリピン」と回答した企業割合は7.2%（業種別では、サービス業9.5%と高く、次いで小売業8.7%）。「インドネシア」と回答した企業割合は5.2%（業種別では、サービス業8.5%と高く、次いで建設業6.1%）。

どこの国の人材を採用したいですか



業種 × どこの国の人材を採用したいですか

業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
合計	40.6%	7.2%	5.2%	2.0%	45.1%		
回答	ベトナム	フィリピン	インドネシア	ミャンマー	その他		
業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
ベトナム	48.5%	55.0%	37.5%	32.0%	25.0%	52.5%	24.6%
フィリピン	6.5%	2.5%	7.5%	8.7%	9.5%	8.1%	8.5%
インドネシア	4.5%	5.0%	2.5%	4.7%	8.5%	6.1%	3.1%
ミャンマー	1.5%	2.5%	0.8%	2.0%	2.0%	2.0%	3.1%
その他	39.0%	35.0%	51.7%	52.7%	55.0%	31.3%	60.8%

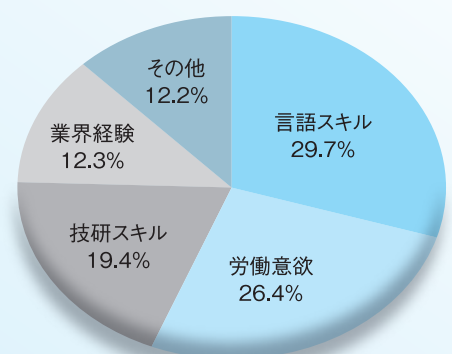


外国人雇用に関して、あなたが最も重視するスキルは何ですか。

～「言語スキル」29.7%、
「労働意欲」26.4%、
「技研スキル」19.4%、～

「最も重視するスキルは何か」について聞いたところ、「言語スキル」と回答した企業割合は29.7%と最も多くなった（業種別では、不動産業41.5%と高く、次いで小売業34.7%）。次いで「労働意欲」と回答した企業割合は26.4%となった（業種別では、製造業32.0%と高く、次いで建設業30.7%）。「技研スキル」と回答した企業割合は、19.4%となった（業種別では、金属機械工業31.0%と高く、次いで製造業23.0%）。

最も重視するスキル



業種 × 最も重視するスキル

業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
合計	29.7%	26.4%	19.4%	12.3%	12.2%		
回答	言語スキル	労働意欲	技研スキル	業界経験	その他		
業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
言語スキル	25.5%	26.0%	30.3%	34.7%	30.5%	25.1%	41.5%
労働意欲	32.0%	29.5%	23.5%	23.3%	22.5%	30.7%	18.5%
技研スキル	23.0%	31.0%	14.3%	14.0%	20.0%	21.1%	3.8%
業界経験	14.0%	5.5%	10.1%	8.0%	12.5%	16.6%	20.0%
その他	5.5%	8.0%	21.8%	20.0%	14.5%	6.5%	16.2%

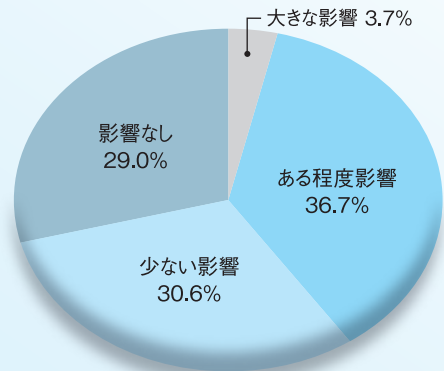


外国人従業員がもたらす異文化の視点が、企業の創造性とイノベーションにどれくらい影響すると考えていますか。

～「ある程度影響」36.7%、
「少ない影響」30.6%、
「影響なし」29.0%～

「企業の創造性とイノベーションにどれくらい影響するか」について聞いたところ、「ある程度影響」と回答した企業割合は36.7%と3割超となった（業種別では、製造業45.4%と高く、次いで建設業43.9%）。また、「少ない影響」と回答した企業割合は30.6%となった（業種別では、金属機械工業が34.8%と高く、次いで製造業が32.7%）。「影響なし」と回答した企業割合は29.0%となった（業種別では、不動産業が45.0%と高く、次いで卸売業が38.5%）。

企業の創造性とイノベーションに
どれくらい影響するか



業種 × 企業の創造性とイノベーションにどれくらい影響するか

50	40	30	20	10	0	合 計	回 答	業 種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
						3.7%	大きな影響		2.6%	2.5%	4.3%	3.4%	4.0%	4.6%	5.4%
						36.7%	ある程度影響		45.4%	40.4%	32.5%	29.3%	34.3%	43.9%	22.5%
						30.6%	少ない影響		32.7%	34.8%	24.8%	29.9%	29.8%	31.1%	27.1%
						29.0%	影響なし		19.4%	22.2%	38.5%	37.4%	31.8%	20.4%	45.0%

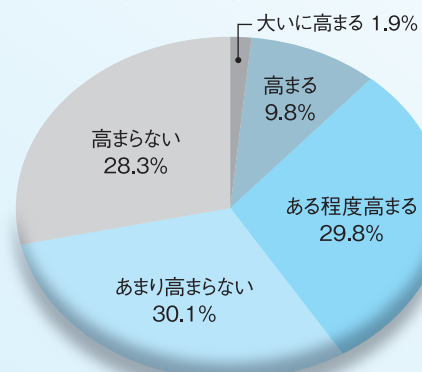


外国人雇用に関して制度やサポートが整っていると雇用する意欲が高まりますか。

～「あまり高まらない」30.1%、
「ある程度高まる」29.8%、
「高まらない」28.3%～

「制度やサポートが整っていると雇用する意欲が高まりますか」について聞いたところ、「あまり高まらない」と回答した企業割合は30.1%と最も多かった（業種別では、製造業が38.5%と高く、次いで小売業31.5%）。また、「ある程度高まる」と回答した企業割合は29.8%となった（業種別では、製造業が38.5%と高く、次いで金属機械工業が35.5%）。「高まらない」と回答した企業割合は28.3%となった（業種別では、不動産業が49.6%と高く、卸売業が39.2%）。

制度やサポートが整っていると
雇用意欲が高まりますか



業種 × 制度やサポートが整っていると雇用意欲が高まりますか

50	40	30	20	10	0	合 計	回 答	業 種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
						1.9%	大いに高まる		2.5%	2.5%	1.7%	0.7%	1.5%	3.0%	0.8%
						9.8%	高まる		10.5%	9.5%	9.2%	10.1%	7.5%	15.1%	4.7%
						29.8%	ある程度高まる		38.5%	35.5%	27.5%	22.1%	30.2%	32.2%	14.7%
						30.1%	あまり高まらない		33.5%	30.5%	22.5%	31.5%	28.6%	31.2%	30.2%
						28.3%	高まらない		15.0%	22.0%	39.2%	35.6%	32.2%	18.6%	49.6%

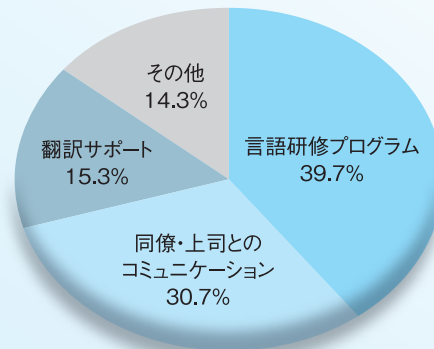


外国人雇用における言葉の壁を解決するために、 どのようなことが求められると考えられますか。

～「言語研修プログラム」39.7%、
「同僚・上司とのコミュニケーション」30.7%、
「翻訳サポート」15.3%～

「言葉の壁を解決するために、どのようなことが求められるか」について聞いたところ、「言語研修プログラム」と回答した企業割合は39.7%と約4割を占めた（業種別では、不動産業42.3%と高く、次いで金属機械工業42.2%）。また、「同僚・上司とのコミュニケーション」と回答した企業割合は30.7%となった（業種別では、製造業38.5%と高く、次いで金属機械工業35.2%）。また、「翻訳サポート」と回答した企業割合は15.3%となった（業種別では、卸売業16.7%と高く、次いでサービス業16.1%）。

言葉の壁を解決するために、
どのようなことが求められるか



業種 × 言葉の壁を解決するために、どのようなことが求められるか

業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
言語研修プログラム	39.5%	42.2%	35.8%	35.3%	41.2%	39.7%	42.3%
同僚・上司とのコミュニケーション	38.5%	35.2%	25.8%	30.0%	24.6%	33.2%	23.1%
翻訳サポート	15.5%	14.6%	16.7%	15.3%	16.1%	14.6%	14.6%
その他	6.5%	8.0%	21.7%	19.3%	18.1%	12.6%	20.0%

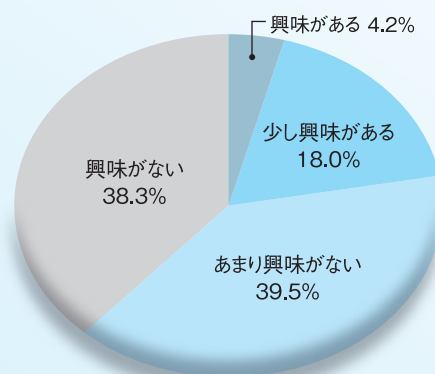


外国人材の雇用することについて興味を持っていますか。

～「あまり興味がない」39.5%、
「興味がない」38.3%、
「少し興味がある」18.0%～

「雇用することについて興味を持っていますか」について聞いたところ、「あまり興味がない」と回答した企業割合は39.5%となった（業種別では、製造業50.5%と高く、次いで金属機械工業41.5%）。また、「興味がない」と回答した企業割合は38.3%となった（業種別では、不動産業66.2%と高く、次いで卸売業50.0%）。また、「少し興味がある」と回答した企業割合は18.0%となった（業種別では、建設業24.5%と高く、次いで製造業22.5%）。

雇用することについて興味を持っていますか



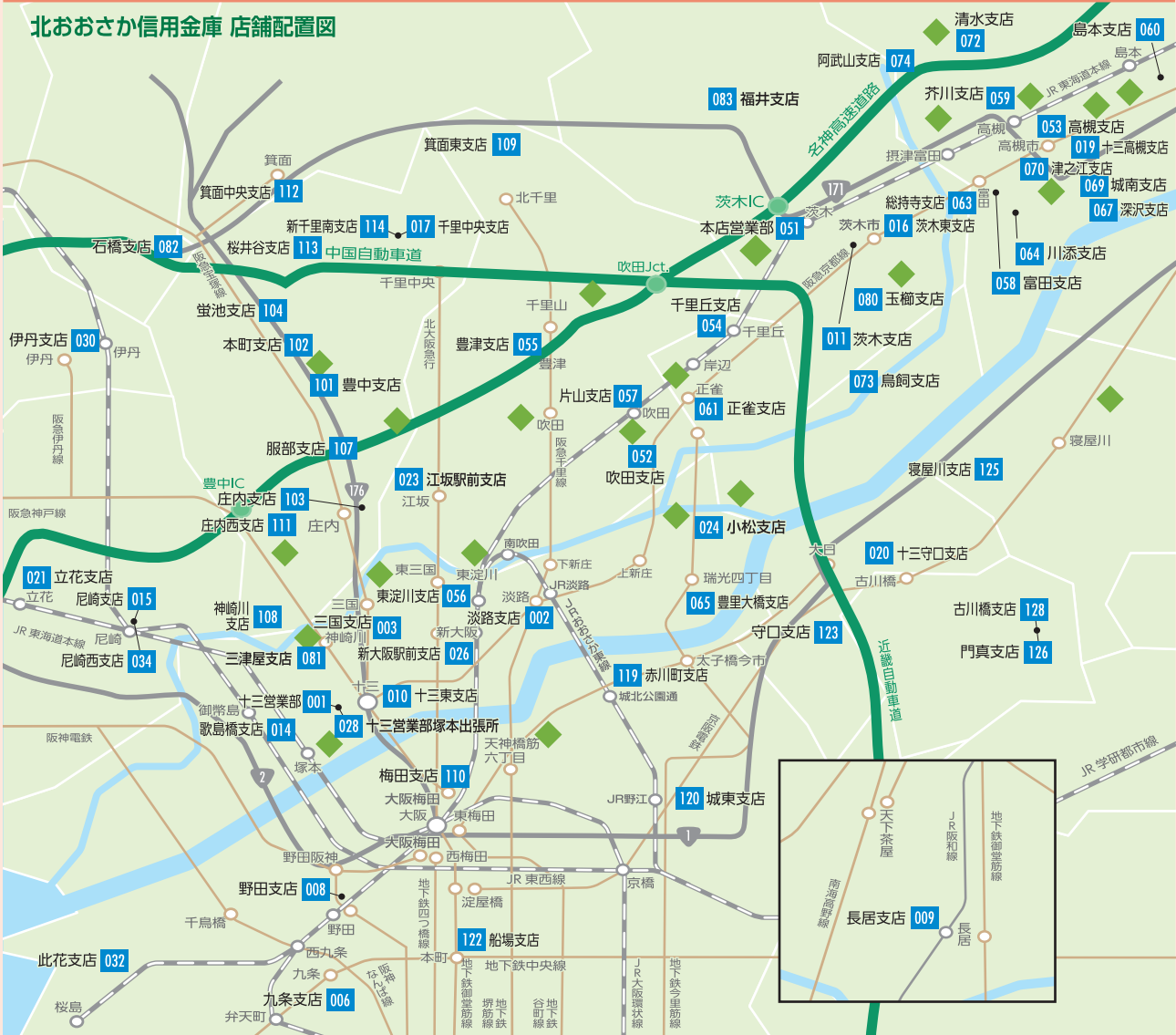
業種 × 雇用することについて興味を持っていますか

業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
興味がある	4.5%	4.0%	4.2%	2.0%	1.5%	11.0%	0.0%
少し興味がある	22.5%	22.0%	14.2%	12.0%	17.5%	24.5%	6.2%
あまり興味がない	50.5%	41.5%	31.7%	40.7%	38.5%	39.0%	27.7%
興味がない	22.5%	32.5%	50.0%	45.3%	42.5%	25.5%	66.2%

地域密着を信条とした65か店のネットワーク

店舗のごあんない

北おおさか信用金庫 店舗配置図



(2024年4月現在)

- | 店外ATM | ◆ 吹田市水道部出張所 | ◆ アクトアモーレ出張所 | ◆ 小曾根出張所 | ◆ 庄内栄町出張所 | ◆ 上牧出張所 |
|----------------|----------------------|--------------|-----------|-------------|---------|
| ◆ 吹田市役所出張所 | ◆ 関西スーパー西冠店出張所 | ◆ 三国商店街出張所 | ◆ 旭丘出張所 | ◆ 香里出張所 | |
| ◆ イズミヤ千里丘店出張所 | ◆ サバイ出張所 | ◆ 神崎川駅前出張所 | ◆ 相川出張所 | ◆ JR吹田駅前出張所 | |
| ◆ フレンドマート岸辺出張所 | ◆ マルヤス宮田店出張所 | ◆ 毛馬出張所 | ◆ 塚本駅前出張所 | | |
| ◆ イオン高槻店出張所 | ◆ イオン茨木ショッピングセンター出張所 | ◆ 大池出張所 | ◆ 江口出張所 | | |

営業地域(地区別) 大阪府:大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四条畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡
兵庫県:尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡
京都府:向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 2024年4月30日
発行 北おおさか信用金庫 総合企画部
住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32
電話 072-623-4981(代)
ホームページ <https://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>
編集 株式会社 きたしん総合研究所

